

2011-8

第一艦隊 日本海々戦々闘詳報

一 聯合艦隊

一 三笠

各艦突射彈表

一 富士

一 春日

一 日進

一 第十五艇隊

一 第三戰隊

笠置、千歳、新高、音羽

一 第二駆逐隊

電、雷、曙、朧

一 第三駆逐隊

0315

東雲、薄雲、漣、霞

一、第九艇隊

一、第十四艇隊

一、第五艇隊

一、第一驅逐隊（再出、分モアリ）

春雨、吹雪、有明、霰、曉

一、竜田

一、朝日

一、敷島

0316

聯隊機密第六九號

進達

麾下各隊日本海之戰、戰鬪詳報、一拾
右及進達候也

明治三十八年十月六日

聯合艦隊司令長官東郷



十月
九日
午後

即日
小笠原中隊
一務

海軍司令部長子爵伊東祐亨
追而三笠遭難、際之失係ハ敷島
朝日龍田戰鬪詳報及聯合艦
隊戰鬪詳報、不日提出可致為
念申添候也

0317

秋

秋

年我田詳報三鋼釵被震ノ状況等詳細
ニ因示シテリノ新聘生並ニ進考ノ事
ノ不敷ト云セシ様ニ付不取敢ハ進
進

明治二十八年六月十日

東郷洋右衛門隊長ノ宣長

長

伊集院海軍少令野田長

長子也諸隊各艦ハ我田詳報ハ勿違
標本ノ後様也

海軍

0318

海軍省 第三八八号 第一六一三

海軍省 第三八八号 第一六一三



六月廿日海軍省 第一六一三
海軍省 第三八八号 第一六一三
海軍省 第三八八号 第一六一三

右達 達 達 達

海軍省 第三八八号 第一六一三

海軍省 第三八八号 第一六一三

海軍省 第三八八号 第一六一三



0319

司令長官

参謀

参謀

副官

官



三笠機密第一九一號

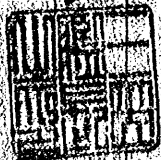
一日本海軍新聞詳報

第一號

右提出候也

明治三十八年六月十日

海軍大臣伊地知彦次郎



第一艦隊司令長官東郷平八郎殿

海軍大臣 伊地知彦次郎

海

軍

0320

明治三十八年五月二十七日 戰鬥詳報

一、天候

天候晴、濃氣海面、停滯して、展望約五六海里
風向、終始西南西ニシテ、風力四乃至五、波浪ノ方向亦
西南西ニシテ、其高サ四乃至五、艦体ノ動揺稍甚ク
シテ、是レニ及、既ニルキハ、激浪ノ飛沫、常に甲板ヲ
洗ヒタリ、夕刻、前濃氣漸ク減退シ、風勢亦少シク
衰ヘテ、カ三内外トナリ、従テ波浪ノ高サモ、斯カ減シ、夕
リシガ、波長ハ却テ増大セリ

二、運動

午前五時五分、嚴島魚雷電信ヲ以テ、敵ノ第三艦

隊見^ル報^ズ即^チ直^ニ總^ニ至^ル急^ニ矣^ク會^シ
 出^テ戰^ヲ準備^ス為^ル久^ク今^ニ分^ニ十二^ノ甲^ヲ砲^ヲ發^シ射^シ障^ヲ害^ス
 多^クコト^ク恐^レ前^ニ後^ニ甲^ノ板^ニ積^リ載^セ石^ノ炭^ヲ(豫^メ意^ニ存^ス炭^ヲ)
(滿^チ載^シ)ヲ^シ中^ノ甲^ノ板^及下^ノ甲^ノ板^ニ下^シ艦^ニ載^セ水^ノ雷^ノ艇^及山^ノ艇^ヲ
 院^ノ艇^ハ台^中丸^ニ依^リ托^ス(總^テ今^ニ四^ノ戰^ヲ院^ノ艇^ヲ)今^ニ幸^ニ
 五^ノ分^ニ出^テ港^ヲ用^意六^時五^分航^ヲ進^ス起^リ今^ニ五^分至^リ
 原^ニ速^ニ十二^ノ哩^トス^ル針^ノ路^不定^ニシ^テ加^テ德^ノ水^道ニ^向ク
 今^ニ分^ニ合^テ戰^ヲ準備^ス令^ニテ^ハ中^ノ部^ノ甲^ノ板^及石^ノ炭^ヲ
 炭^ノ庫^ニ収^メ殘^レ余^ノ一^部約^シ三^噸海^中ニ^棄却^ス
 今^ニ分^ニ原^ニ速^ニ十五^ノ哩^ト七^時五^分合^テ戰^ヲ準備^ス整^テ備^ス
 以^テ戰^ヲ部^ノ署^ニ就^キカ^シ各^ノ砲^火管^ヲ試^ス今^ニ分^ニ
 東^ノ頭^末ヲ^正能^ク見^ル加^テ德^ノ水^道ヲ^出テ^ハ南^ニ東^ニ
 定^メ針^ス今^ニ分^ニ東^ノ頭^末ヲ^世々^ニ東^ニ三^海里^見ル

列ヲナレ「ミライ」一セ「アドミラル」セニアビシ「型三隻」オレグ
 「アウローラ」左翼列ヲ為シ其後方ニ使装巡洋艦
 數隻后統部隊トシテ隨航スルヲ知ル食甚終
 十一時五十分總自ラ后軍板、集令敵ノ情報
 ラ告知シテ左ノ訓示ヲ為ス
 總自、告グ、隊ヲヨリ百千秋ノ忍ラ以テ待シ敵ノ
 第ニ第ニ太平洋艦隊モ愈々本ヨリ以テ浦汐、向ケ膏
 対馬海峡ヲ通過セトス則チ我が聯合艦隊ハ今ヨリ
 是ガ邀撃、向ヒ凡ソ一時間ヲ経バ彼我相見テラ得可シ
 魚線電信ヲ傳ス情報ニ依リテ敵ノ序列ハ先頭ヨセ至テ
 型一隻ニシテ其後ニ二列ヲナシ右翼列ハ「オロチ」型四
 隻「オスビヤ」「ソレイ」空キ「カウ」及「セモ」ノ順、主力ヲ為シ
 左翼列ハ「セチア」「アラキ」型三隻「ミライ」一セ「オレグ」
 「アウローラ」ニシテ

其後方、改装巡洋艦統行をモ、如シ但シ此陣敵ハ
 戦闘ノ進行時ノ状況ニ従ヒテ種々變化ヲ來ス勿論
 古ト事氏吾等ガ雄雄ヲ決セントスル敵ノ勢力ハ大略斯
 如キモノナリ可シ情々想フニ今日ノ戦ハ實ニ邦家ノ安危ニ
 関スル海戦ナリ我ハ此重要ナル戦ニ終テ天祐ヲ當ルベキ
 素練艦隊ニ練艦ヲ重キルニ全能ノ腕ヲ揮ヒテ必キヤ
 敵ヲ全滅セシメサレバ止マサントス、願フ諸子ト共ニ協力一致
 テ先輝テ成功ヲ得コトヲ切望ス
 本日風波穏カナラズシテ射撃ノ困難ヲ感ズルハ聊カ恨ミト
 ス所ナリ由テ照準ハ極メテ慎重ニ行ヒ昔今ハ品モ明瞭ニ
 傳ヘ沈着シテ是モ狼狽スルコトナリ百發必ス百中ナリ
 期ス可シ余ハ是以上更ニ何等ノ望ヲ有ヤス唯諸子ト
 共ニ少クモ敵艦隊ノ二分ヲ撃破セントシテ誓フニ裁

次デ

天皇陛下ノ萬歲

大日本帝國ノ萬歲

聯合艦隊ノ全捷ヲ祈リ萬歲ヲ各三唱ス

午後零時零五分又法由リ本艦ノ位置直世緯一

三度ニ七分東至百三度一分ニ知ル今三十分

旗中ヨリ漸次連力ヲ十二哩減ズ今三十分敵島ヲ

無線電信依リ敵艦隊正午ノ位置ハ壹岐國若宮

島ノ北方十二海里ニテ針路北東ニ東ニ知ル今三十分

針路ヲ南西ニ西ニ變シ各艦旗中依リ本艦ノ通跡

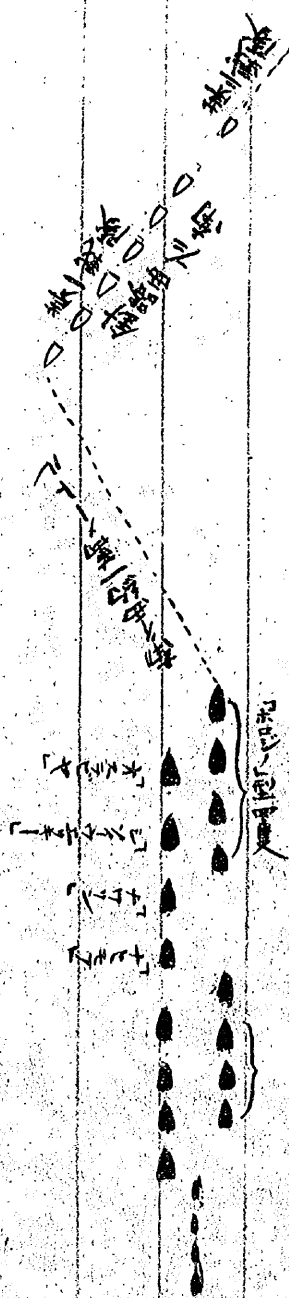
ヲ統紙ス

今時刻更ニ戰鬥部署ニ就カシメ實戰ノ處ニ一切準備

ニ準備算方ラシム五分時ニテ完全ニ整備ヲ告グ乃チ十二

時六時迄ラシテ敵艦ヲ裝填セシメ然レ後其場ニ休
 憩喫烟ヲ許ス全軍七分沖ノ島ヲ南ニ西ニ西約九
 海里ニ見テ而シテ變針ス一時十分嚴島及笠置ヨリノ
 無線電信ニ依リ敵艦隊其來ノ方向進航シテ、
 知ル全五分南西ノ西ニ當リ進カ、艦影ヲ認ム其三戰
 隊(笠置 新高) 七ノ全七分西ニ當リ其五戰隊(嚴島)
(新島) 次ノ第六戰隊(須磨 和歌) ヲ認ム全五分南西ニ
 變針シ敵艦隊ノ想像位置ニ向テ全五分南西ニ
 南西ニ當リ進カ、敵艦隊ヲ認ム濃氣ノ為メ
 其隊形進ニ進行方向不明ナク全軍分北西ニ
 北ニ變針シテ敵艦隊ノ周上側ニ位置セシメ全軍
 四分ノ氣ヲ附ケテ令シ戰鬥旗ヲ掲テ全軍分旗幟ニ
 依リ漸次連カラ増加シテ十五哩ト為ス全軍三分

「皇國ノ興敗ハ此一戦ニ在リ各員一層奮勵努力セヨ」
 「熟誠」此時既ニ敵艦隊ヲ全滅セリ全軍
 其方西ニ變針全軍七分敵艦隊ヲ南ニ西約一萬米突
 ニ見ル其陣形ハ濤氣ノ為ニ判然セシ先頭ノ二列
 主力ニシテ其右翼列ハ「ボロヂ」型四隻ヲ以テ為リ左翼列ハ
 「オスラビヤ」「シロイウエリキ」「ナワリ」及「アドミラル」モ「ウ」威ルモ
 如シ又「セムスター」型ト見ラレ小艦一隻主力ノ左方艦カ
 在リテ認ム敵艦隊ノ針路北東被我ノ圍住位置
 次ノ如シ



二時龍田艦隊より反航して右方に台位し駆逐隊亦
 厚着巨高外に去り通宜、運動ヲ為ス今二分南西に
 南に交針ス敵は南に東九千メートルに在り今五分更ニ取
 能ニ回頭ヲ始ム敵ノ先頭艦(橋頭、特務、如キモ見ん多分)
 八南に東八千メートルに在り此時敵主力ノ右翼列ハ其先
 翼列ヨリ少シク前進シ併合シテ軍縦陣ヲ為セトノ
 敵艦方見エ今七分東北東に定針シ敵ト全行ノ方向、
 至多最近ノコオスレヤ先ツ砲火ヲ開キ茲ニ音日、
 海戦ハ開始セシ今十分巨高六千四百メートルに至リ本艦ハ
 右舷砲身ニ至リ砲台ノ一斉試射ヲ行ヒ今十分更ニ
 並射撃ヲ今十分巨高五千五百メートルに及リ今十分更ニ
 東突トナリ漸次表揚ス此頃敵ノ厚着頗ル良好
 本艦ハ忽チ三十分數回ノ大口砲弾ヲ受ク但シ我厚着

敵ノ前
面ヲ一
再ニ止
マズ

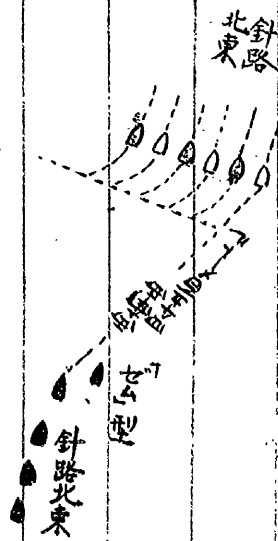
モ亦漸次良好トナリ敵ノ一萬艦ヲクニヤードスラニ全中ニテ
爆煙ノ揚ルモ一再ニ止マズ全十方東クイ南ニ変針シ
敵ノ前面ヲ一艦ス全十方巨高五千四百ノートルトナリ業
ヲ東ニ転シ全十方東北東ニ変針ス我陣着願ハ良
好ニシテ全中頻々快ヲ極ム巨高四千三百ノートルト為ル
ニ及ビ艦ノ防禦物内方ニ避ケレメ墨キルナリ所飛負
ラシテ飛ニ就カレメ同目標ニ對シ發射ラ全中目標ノ
一萬艦遂ニ火災ヲ起シ夥ク黒煙ト紅焰ノ揚ルヲ
見ル全十方東ク北ニ北ニ變針シ巨高漸ク遠大ト
ナリシカバ全十方並射撃ニ復ス巨高五千四百乃至五千七
百米突チ全十方東ニ北ニ次テ全十方正東ニ變
針シ更ニ敵ノ前面ヲ一艦ス全十方巨高五千七百米突
我前後ノ十二戸砲及十二戸砲毎發殆んど空彈魚ク

注意

目標ハ其ノ爆煙ニ包ミテ認識シ難ク為メ全軍方、
 至リ上ラ得ズ後砲ヲ中止セリ、全軍方東南東岸
 早七分南東ニ東ニ変針シ敵艦隊ニ對シテ丁字形ヲ
 描キ猛烈ニ縦貫射撃ヲ加フ巨艦五千八百ト
 一敵一萬艦ノ大突ハ頗ル顯著トシ我各艦ヨリ集
 弾ヲ破リシカ高御道守艦ニ一信置ラ保持シ驚
 然我艦隊ニ向ケ突進シ来ルモノ、如シ時本艦ノ
 大橋上尉敵彈ノ為ノ切断セシタル戰鬥旗及大将
 旗ハ臨時其左舷折端ニ掲揚ス各艦方ヨリセム
 型一隻其快速カラテ一萬艦ノ前方ニ現ル一萬艦
 ノ巨艦五千四百メートルニシテ南西々西ニ見ル全軍七分
 ニ至リ巨艦ニ接近シテ四千七百メートルトナリシカバセム
 ナクシ型ノ水雷發射ヲ為セシトシ慮ルカ八分ニ至ル

0331

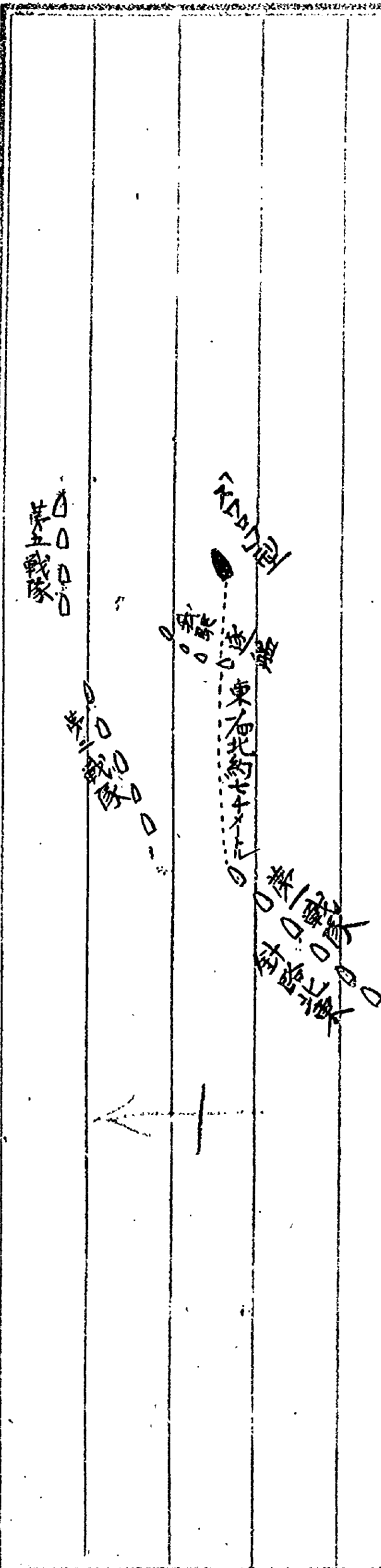
一奇面頭ニ依リテ北東ニ変針シ發砲ヲ中止ス彼我ノ隊形吹ノ如シ



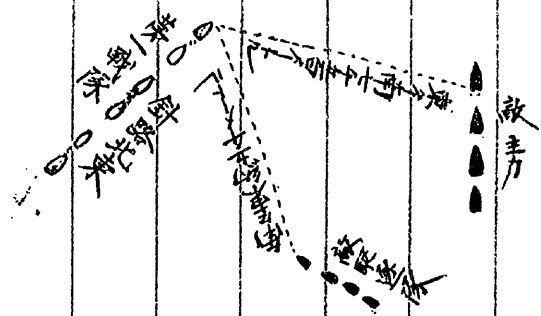
三時三十分再ビ九八点一奇面頭依ッテ西北西ニ変針シ逆列單縱陣ヲ為シテ本艦其ノ殿艦ナリ是レヨリ左舷側戰鬥ニ移ル敵艦隊亦取舵ニ變針ス須臾ノ間全航ノ姿トナリレガ三時十分晝キニ番艦クワシッボボナリ型戦艦化ヲ率ヒテ殆んど十六点ノ右正面變換ラセテ反航スルニ至ル巨萬五千三百メートル其變化頗ル急ニシテ全三分三十八百メートル止所砲ヲモ射撃

セム敵艦隊ノ陣形ハ茲時已ニ乱レ反航諸艦ノ正艦ニ於
テ巨艦二千六百乃至三千六百メートルニシテ其モ隊形ヲ
認ムル事能ハサリシモ我全砲火ハ依然舊ノ嚮向道守艦ニ
集注セリ三時十五分ニ至リテ巨艦ニ現ハシクルコトド
エラヒモフシノ好目標ナリ故ヲ以テ專ラ十二所砲ヲ是レニ
集中セリ全五分巨艦二千七百メートル型ニ會前部發射
管ヨリ第一回ノ水雷ヲ發射シテ通過ス全五分舊ノ嚮
道守艦ヲリシコトヲ以テ型一隻一烟突折レ進退ノ自由ヲ
失ヒ二千九百メートルノ巨艦ニ於テ殆ンド漂泊ノ有様トナシ
ラシテ益々是ヲ猛射セリ全四分敵主力ノ先頭艦ヲ
南東ニ見シモ巨艦遠キヲ以テ目標ヲコトドミエラヒモフ
ニ転ジ巨艦二千九百乃至四千二百メートルニ於テ之ヲ專
ヤリ既ニシテ巨艦ハ漸次遠隔トナリ敵ノ主力亦坐カシテ

遂ニ其姿ヲ失ヒ去ラ以テ及砲ヲ中止ス全五分九四点正面
 変換ノ旗信アリテ五分六分前銃艦ニ倣ヒ南西ニ変針ス
 全五分九八点一各回頭ニ由リテ南東ニ南ニ轉ジ四五分
 更ニ九八点一各回頭ニ依リテ北東ニ変針シ本艦再ニ端
 道ヲ艦トシテ右舷戦列ニ移ル全五分八分進退ノ自由先心
 一スワロビ型戦艦ガ東ニ北約七千メートルニ當リ我ガ第五戦
 隊ノ砲撃ヲ被リツク見ル望ム又全五分八分驅逐隊ハ之ニ對シ砲
 撃ヲ決行シツク見ル時ノ關係位置次ノ如シ



三時五分敵主力ノ先頭艦ヲ東南東ニ南見ル全五分
 其ノ方位東ノ南巨高七千五百メートルニシテ全時ニ南東
 約五千メートルニ當リ敵駆逐隊ノ我が後尾ニ向テ進航
 シ来ルヲ認ム彼我關係位置置次ノ如シ

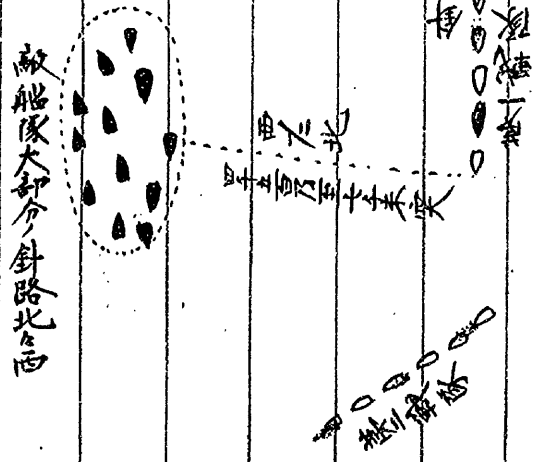


四時五分漸次敵ノ主力艦隊ニ接近シテ三番艦(カ)ヲオスラビヤリ
 巨高六千五百メートル右舷側六甲砲一斉試射ヲ以テ

砲撃ヲ開始ス全三分北東ニ北ニ変針シ目標ヲ當時ノ
 先頭艦ヲボクダノ型ニ変ズ巨島六千二百メートルノ
 向漸次ニ接近シテ全八分五十七メートルト為リしが烟突一本
 ヲ失ハルコトヲ型戦艦ノ向方面ニ見テ及ビ再ビ是レニ
 向テ猛撃ヲ加ラ全十分巨島五千六百メートルニシテ全中彈ノ
 爆煙塵々揚ル全十五分針路ヲ東北東ニ転ジテ大ニ接
 近ヲ試ム此時敵主力南東ニ南ノ方位アリ全十分スワロ
 型戦艦南東ニ南ニ全八百メートルニ在リテ尚ホ少シク前
 進ス全十分更ニ東ニ北ニ變針シ大ホノ砲彈雨ノ如ク
 注リ全中頗ル良好ニシテ遂ニ盛況火災ヲ起サレシカ彈
 丸貫通ノ程度ヲ察シテ徐射撃ヲ全ジ徐々ニ百發百
 中ノ健彈ヲ送ル全十分方位南々東巨島三千メートル
 益々接近シテ全八分南ニ東ニ二千七百メートルトシテ前部發射

管より第三面ノ水雷ヲ發射シ全幸四分繞テ巨高ニ千百
 后部發射管より第三面ノ水雷ヲ發射セリ全幸五分
 左八點一斉回頭シテ北ノ東ニ變針シ全幸四分右八點
 一斉回頭ニ依リテ東南東ニ變針シ各艦本艦ノ通跡
 ニ從ヒ繞航ス全幸一分更ニ針路ヲ南ニ變シ敵艦隊
 ヲ追蹙ス此時敵艦隊ハ已ニ四分五裂シ其隊形進退
 等区々ニ判別困難ヲ極ム全幸三分戰利カラ
 失ヘルコトヲ型戰艦ヲ南西ニ見ル幸五分時、敵艦隊
 主力コボダノ型三隻ハ南西ノ南ニ當リ反航シテ、
 自餘ノ巡洋艦後裝巡洋艦等ハ各單獨ノ行動ニ於
 テ徒ラニ彷徨セリヲ見ル五時。分コボダノ型三隻ノ敵主
 力南西ニアリテ發砲ス其巨高六百メートル我ハ直ニ
 右舷側ニ砲ヲ一斉試射ヲ以テ之ニ応ジ全幸五分發射

ラ開始ス全八分西南西五千メートルニ當リ「オロラ」型三煙突ノ
 巡洋艦(夜襲巡洋艦)一隻ヲ認メ最近艦タル故ヲ以テ目標
 トナシ之ニ砲火ヲ注ギ其一煙突ヲ撃破ス全五分接近シテ
 四百メートル至ル時恰モ太陽ニ面シ彈着明瞭ナラズ
 且テ敵艦隊ノ混乱セル運動ニ目標ヲ一定シテ砲火ヲ
 集注スルヲ能ハサルメタルヲ以テ全八分一時發砲ヲ中止セ
 シム全五分敵
 一巡洋艦西ニ
 南軍五百ノ上
 ニ於テ敵艦隊
 最尤翼ノ好目
 標トシテ現ル
 即チ再ビ砲撃ヲ

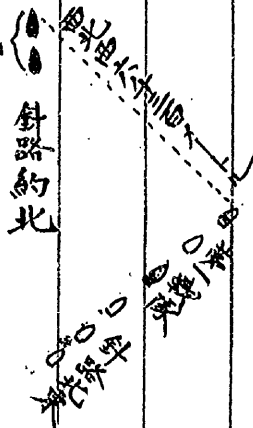


0338

開始ス全五分被我ノ圍係信置圖ノ如シ
 全五分北北西ニ変針シテ九能倒戰鬥ニ移リ北西五十分
 三百メートルニ於テ互航ス一巡洋艦ヲ認ム全五分
 五十分三百メートルニ於テ互航ス二烟突一役裝巡洋艦ヲカキ
 ヤツカニ大打撃ヲ與ヘ全五分四分北北西ニ於テ九能倒戰鬥ニ
 於テ進退ノ自由ヲ失ヒ停止セル後裝巡洋艦ヲウラ
（前田ノ三煙突ノ一ヲ）ヲ猛撃ス全五分五分北北西ニ變針シテ
（擊破セラレタルモ）
 巨高ハ漸次短縮シ全五分八分二十四百メートルト為リ彈
 着尤モ良好ニシテ全中ニ次グニ全中ヲ以テテ遂ニ猛
 烈ナル火災ヲ起サシム要密砲亦戰鬥ニ加ヒ全四分
 五十分ニ變針シテ之ヲ正能ト見ル時巨高ニ千メートルトシテ
 后部發射器ヨリ火四回ノ水雷ヲ發射ス而シテ
 砲壇ハ其ノ全ク戰鬥力ヲ失ヘルヲ見テ小口至砲外

射撃ヲ止ム暫クミレテ該夜襲巡洋艦漸次九能
 傾斜シ全五十分ニ至リテ全横臥沈没セリ全五十分
 四世西ニ変針シ敵主力ノ所在ニ向ヒトセシガ左舷四千メートル
 ニ當リ敵駆逐隊ノ突進シ来ルカ如キヲ見テ小口徑砲ヲ
 以テ是ニ對ス全五十六分駆逐隊ノ砲撃ヲ止メテ也東ニ
 変針ス全五十七分西北西六百メートルニ當リ「ボロチ」型
 戦艦二隻ノ北走スルヲ認メ直ニ左舷側砲台發砲ヲ
 開始ス該敵艦ノ左舷ニ
 於テ高梁三隻ノ巡洋艦(イセゴ)
 及「アリアス」ヲ悉ク認ム被我
 関係位置次ノ如シ

敵艦
 我艦
 砲台
 砲口



六時針路ヲ北高ニ變ジ漸次接近シテ徐射ヲ継続ス
 敵艦ニ復テ針路殆ビト我ニ並行シ且ツ其速カモ
 甚シク劣ラセラル以テ接近ノ程度頗ル少ク六時十五
 漸ク五千九百メートルニ至リ又此時夕陽恰モ敵方ニ
 輝キテ十二時砲彈ノ外彈着多ク不明ニ屬セリ至五分
 頃ヨリ漸ク接近ヲ得テ敵ノ一番艦ニ對シ猛烈ニ砲
 砲火ヲ注グ至五分敵ノ一番艦西ニ南五千八百
 ノートン至五分五分九千四百メートルトシテ彈着頗ル良
 好ニテ艦影余リ至五分中彈ノ爆煙ニ依リテ敵ハルモ
 至ル當時敵ノ二番艦(アリヨール?)能ク戦ヒ我カ艦
 側附近ニ着彈多ク水中跳入ノ際飛沫ヲシテ
 驟雨ノ如ク目上艦橋ニ至ラシムモノ一再ミテ止マズ人
 依テ目標ヲ失ヒ二番艦ニ接近テ猛撃セリ至五分八分

三至リ巨砲漸ク遠大トナリ全四十分南西イ西ヲ西
 六分百ノートル見ル至ル此時一番艦ノ爆煙較ヤ
 薄キタルヲ以テ再ビ目標ヲ之ニ移シテ砲撃セリ
 全四十分些西ニ変針セシカ復タ甚シク接近スルヲト
 難クシテ全五十分敵ノ一番艦南西ヲ南七十三百
 ノートルトナリ但我ガ十二号砲彈ノ命中ハ依然トシテ
 良好ニシテ七時四分彼ノ大橋ヲ折斷シ大火炎ヲ
 起サシム全十分巨砲三番ニ遠大トナリ以テ夜砲ヲ
 中止シ次ニ全ク砲火ヲ收ム全十三分敵ノ一番艦後
 部ノ大火災非常ニ盛ニシテ大船橋樓ノ高サ及ブ
 此ノ光景ヲ左艦ニ眺メツ全十分此ニ変針シテ
 夜間ノ予定行動ニ移リ休憩甲板ヲ片付ケシム全十分
 敵ノ一番艦南西イ南ニ當リ突如トシテ水煙ノ裡ニ

全ク沈没ス巨高遠クシテ判明ナラセシ火災ノ為メ
 火災車庫爆発ヲ惹起シルモノト想像セラル
 二十五分東ニ変針八時更ニ北ヲ東ニ東ニ変針
 シテ鬱陵島ニ向フ今十分水雷艇防備配罟ニ就
 カシメ次テ艦内四直哨兵ヲ配備シテ警戒戒ス

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

0344